

建設仮勘定の精算事務の不備

対象受検機関	検出事項	是正を求める事項												
枚方土木事務所	<p>令和5年度の財務諸表（貸借対照表）の建設仮勘定に、工事が完了し供用が開始されている下記の工事に係る金額が計上されたままとなっていた。</p> <table border="1" data-bbox="498 512 1623 926"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>契約件名</th> <th>契約金額</th> <th>未精算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>主要地方道枚方富田林泉佐野線（都市計画道路梅が丘高柳線）道路改良工事（H26）</td> <td>49,750,200円</td> <td>49,750,200円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>主要地方道枚方富田林泉佐野線（都市計画道路梅が丘高柳線）道路改良工事（H27）</td> <td>130,474,800円</td> <td>130,474,800円</td> </tr> </tbody> </table>	年度	契約件名	契約金額	未精算額	平成26年度	主要地方道枚方富田林泉佐野線（都市計画道路梅が丘高柳線）道路改良工事（H26）	49,750,200円	49,750,200円	平成27年度	主要地方道枚方富田林泉佐野線（都市計画道路梅が丘高柳線）道路改良工事（H27）	130,474,800円	130,474,800円	<p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府財務諸表作成基準】</b> （固定資産の分類及び計上） 第15条 固定資産の計上は次のとおりとする。 (7) 建設仮勘定 行政活動の用に供する固定資産を取得する場合における支出及びその付随的支出を、資産が完成するまでの間、一時的に計上する。</p> <p><b>【建設仮勘定取扱要領】</b> 第4条 建設仮勘定は、公有財産要領第4条及び第5条に規定する取得年月日又は異動年月日をもって精算しなければならない。 2 前項に規定する精算と併せて、本資産勘定の額と同額の財産を公有財産台帳に登録しなければならない。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b> （台帳の異動登録） 第5条 2 異動した財産については、次の各号に掲げる日を異動年月日とする。また、第1号（府以外からの取得の場合に限る。）及び第3号の場合においては、併せて取得年月日を登録する。 (3) 建物等の増改築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産の増改築等は、供用開始日。</p> </div>
年度	契約件名	契約金額	未精算額											
平成26年度	主要地方道枚方富田林泉佐野線（都市計画道路梅が丘高柳線）道路改良工事（H26）	49,750,200円	49,750,200円											
平成27年度	主要地方道枚方富田林泉佐野線（都市計画道路梅が丘高柳線）道路改良工事（H27）	130,474,800円	130,474,800円											
<b>措置の内容</b>														
<p>令和7年4月21日付けで修正登録が完了し本資産勘定への精算を行った。また、公有財産台帳の修正を行った。 今回の検出事項は、建設仮勘定の精算処理について、担当者及び関係職員の理解が不足していたことによる。 再発防止のため、1月の所内会議にて周知を行い、また業務担当者及び関係職員あて適切な供用開始年月日の把握等をするよう周知を行った。 今後は、建設仮勘定取扱要領等について正しく理解し、適正な事務処理を行う。</p>														

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和6年11月22日及び同年12月5日）